

九時会の解散

横浜市南区 大川 一義

昭和32年から横浜市大小児科の同じ釜の飯を食った生、私が幹事と会計、彼が県医の理事の時、乳児の無料化より夜間急病センターを作って欲しいと主張し、桜木町の市医師会ビルへ開設されたのであった。露木先生をはじめとしてメンバーが次第に欠け若い人を入れて行き有田先生、入江先生、松山先生、横田先生までの4人の小児科教授もよく出席してくれた。本当にうれしいことであった。20周年には桂歌丸さんに鶴見の「みや川」に来てもらい普段聞けない面白い話を聞いた。40周年は私の町内の三吉演芸場の桟敷で家族

多いようであった。私の3カ月の入院中も中断せず、昨年3月の東日本の震災後の停電の為初めて1回休会しただけと言う実に55年間の実績であった。これだけ長く続けられたことはそれ自体凄いい事であり、一部の小児科医師にとってはそれなりに知られる存在、歴史であった。

一昨年松山先生が亡くなり守屋先生が亡くなり、横田先生、浅井綾子先生にも通知された。横田教授からびっく

りするほど立派なカトレアの鉢が届き、丁寧なお手紙を頂いた。

私は半世紀を越えた九時会の存在を改めて思い直し、はっとした次第であった。

私はかつて金融機関に勤め、退職後に目標に向かい学び始めたという。在任中は長く香港に駐在し、その間に日本はバブル経済に突入した。それは日本経済を外部から冷静に分析できた期間でもあり、日本は近い将来中国に追い抜かれると予測したと語る。実際、日本は経済大国第2位の座を中国に譲った。しばらくすると、飲み会という反省

会でM氏はしばしば腰から上の痛みがいつまでも続くと言った。主人は昨年暮れになくなりました。入院中主人は、き合いであったが、私に強烈な印象を与えたM氏との反省会をもう開くことができないのが非常に残念だ。

さて、この素人集団も、仲間内の音楽が少し分かっていてピアノが弾けるおぼさんリーダーによる熱心な練習を重ねているうちに、人前で発表できるほどまで上達してきています。私は参加できませんでしたが、老人施設を慰問して、何曲かの歌を披露し、とても喜ばれたようです(どちらが慰労されたのかはわかりませんが)。この他にも、合同の同窓会で披露したり、亡くなった恩師の一周忌に、恩師のご家族をお招きしての披露など発表の場は広がっています。私は練習もサボることが多く、落ちこぼれなのですが、他の歌はともかく、やはりハレルヤがビタッと決まるとなかなうれしいものです。

反省会

横浜市南区 齋藤 隆

大相撲人気衰退の一因は、横綱大関陣、白鵬はじめ外国人力士の席巻とされる。

最近奨励菊、稀勢の里相次いで大関昇進し愁眉開けた。

稀勢の里「萩原」の頃よりファンだった。平成16年11月場所18才で入幕、鳴門親方(おしん横綱隆の里)は「稀なる勢いを作れ(作稀勢)」から四股名変えた。三役はおるか最年少横綱も夢でないと期待された。それから伸び悩んだ。肝心な一番に弱く地団駄踏んだ。

話変わるが30年来悪筆で日記つけている。5年前から稀勢の里の〇●、対戦力士、コメント記した。〇望外の喜びもあるが●悔しさ、悲観、相手力士の罵詈雑言(のろめ)は旧の木阿弥

昨日11月場所、内規では11勝以上で大関昇進だった。5日目●豪栄道(痛恨の一敗、苦労水の泡)9日目●日馬富士(場所「頑張り稀勢の里」

呼ぶ)11日目●白鵬(剣ヶ峰)13日目●把瑠都(何をかいわんや、11月27日の新聞朝刊「千秋楽の結果によらず昇進確実」白鵬との最近の対戦成績、互角が理由)些か拍子抜けだがうれしかった。場所前急逝した鳴門親方へ何よりのはなむけになった。

今年5月場所、混戦の末、平幕旭天鵬優勝した。稀勢の里は決定戦出られなかった。

前日の日記「皇国ノ興廃此ノ一戦ニアリ」東郷平八郎。



最近うれしいこと

相模原市中央区 桐生 迪介

小学校は玉川学園が私の母校です。この玉川の同級生の仲間と「ハレルヤの会」というのを3年くらい続けています。爺さん婆さんが30人くらい集まり、オラトリオ・ハレルヤを4部合唱で練習しているのです。もちろん他の唱歌なども練習の曲目に入っています。学園の中の音楽室や、外の施

会にすぎなかったが、時間が経つのを忘れるほど話題は尽きなかった。様々な人と出会うとそれだけで学ぶことが、手本としたいことがしばしばある。M氏もそのひとりだった。

M氏はかつて金融機関に勤め、退職後に目標に向かい学び始めたという。在任中は長く香港に駐在し、その間に日本はバブル経済に突入した。それは日本経済を外部から冷静に分析できた期間でもあり、日本は近い将来中国に追い抜かれると予測したと語る。実際、日本は経済大国第2位の座を中国に譲った。しばらくすると、飲み会という反省

会でM氏はしばしば腰から上の痛みがいつまでも続くと言った。主人は昨年暮れになくなりました。入院中主人は、き合いであったが、私に強烈な印象を与えたM氏との反省会をもう開くことができないのが非常に残念だ。

さて、この素人集団も、仲間内の音楽が少し分かっていてピアノが弾けるおぼさんリーダーによる熱心な練習を重ねているうちに、人前で発表できるほどまで上達してきています。私は参加できませんでしたが、老人施設を慰問して、何曲かの歌を披露し、とても喜ばれたようです(どちらが慰労されたのかはわかりませんが)。この他にも、合同の同窓会で披露したり、亡くなった恩師の一周忌に、恩師のご家族をお招きしての披露など発表の場は広がっています。私は練習もサボることが多く、落ちこぼれなのですが、他の歌はともかく、やはりハレルヤがビタッと決まるとなかなうれしいものです。

